

- 1 冷房の中で国家を考える――
- 2 お互いに黙って麦茶飲んだだけ――
- 3 達谷忌父を殺めること出来ず――
- 4 扇風機出してこれから勝負する――
- 5 メロンには生ハムというほどもなく――
- 6 玉葱が溢れて座る場所がない――
- 7 思い出というには甘い蛇苺――
- 8 桜桃のような姉妹で召し上がれ――
- 9 シリアではパイナップルのようになる――
- 10 黒鯛はみんなのものじゃありません――
- 11 梅雨明けのやはり約束破ったか――
- 12 会えないと言われトマトのようになる――
- 13 炎天に終わりにしたい恋もある――
- 14 平和とは蚊取線香焚いて寝る――
- 15 日盛に剃刀の刃が光ってる――
- 16 鰻食べ我慢するしかないのです――
- 17 反戦の思想を運ぶ蟻がいる――
- 18 蝉は鳴く人間であるとは何か――
- 19 シャワーから出てくる人は決まってる――
- 20 起き上がることも出来ない蝉は鳴く――
- 21 寝冷した悪夢の中にいたようだ――
- 22 夏風邪の身では何にも出来ません――
- 23 向日葵のように首垂れ母待つ子――
- 24 重すぎる体をずらす広島忌――
- 25 立秋は人が恋しくなるものか――

- 26 台風が過ぎて死にたくなってくる
- 27 ベッドから動けないまま長崎忌
- 28 秋初め死んでしまえばもう終わり
- 29 盂蘭盆会みんないるのかいないのか
- 30 一粒の葡萄を口にまず含む
- 31 残暑とは痛む体を蒸すものか
- 32 平和とは葡萄一房より脆い
- 33 寝たきりの体動かす敗戦忌
- 34 蜻蛉飛ぶように飛べないままにいる
- 35 秋めけばまた会いに行く人がいる
- 36 約束を破られ西瓜食った
- 37 秋の夜に爪研いでいる獣か
- 38 腕時計着けて深爪秋日影
- 39 夜食には後悔が付きまとうのだ
- 40 涙出るほど嘔吐する震災忌
- 41 秋高く自らを撮る独り者
- 42 秋雨の音はあなたも起こすのか
- 43 秋風がデートの予定ごと飛ばす
- 44 稲妻が落ちて世界が暗くなる
- 45 秋日和明日にしてもいいですか
- 46 重陽にめでたくもない決意する
- 47 猪が荒らした庭に母ひとり
- 48 秋の空君を待つ間の独り言
- 49 台風が来るから風呂に入ろうか
- 50 台風で飛ばされるかもしれません

- 51 台風も過ぎてしまえば夢のあと――
- 52 月光の下でお前は何をした――
- 53 いつからか君がいなくて秋彼岸――
- 54 雨の月会えるか会えず忘れるか――
- 55 虫の声友が訪ねてきたあとの――
- 56 秋天にやりそこなったことがあり――
- 57 天の川奴が死ぬまで生きてやる――
- 58 無月には死んだふりでもしとこうか――
- 59 秋時雨謝って済むことである――
- 60 名月に吠えているから付いてこい――
- 61 秋の暮生きていくには重すぎる――
- 62 隔たれた世で起きている秋祭――
- 63 約束を延期してきた秋の朝――
- 64 秋澄むも吐きたくなって吐いている――
- 65 秋霖の中で私は無視される――
- 66 そぞろ寒僕の周りに人おらず――
- 67 眠れないから眠らない秋の朝――
- 68 秋湿君を思うと唾が出る――
- 69 青蜜柑のたうつような一瞬よ――
- 70 台風が明日来るからもう寝ます――
- 71 台風が来たから僕は帰ります――
- 72 台風が過ぎて私はまた来ます――
- 73 秋の夜の臭い匂いが取れなくて――
- 74 秋の昼あなたが来たたら晴れ渡る――
- 75 秋日和君が出るまで黙ってる――

- 76 台風と戦争が近づいてくる――
- 77 台風が通る間は黙ってる――
- 78 秋天に生きてもいいか問うている――
- 79 晩秋に気配はするが出てこない――
- 80 勲章を貰い喜ぶ文化の日――
- 81 行く秋に道を問われているらしい――
- 82 吊し柿死刑制度をどう思う――
- 83 立冬に子供は走るものなのか――
- 84 冬浅く隠れたいのに場所がない――
- 85 僕たちは蒲団に籠り出てこない――
- 86 隙間風みんな黙って下を向く――
- 87 父は鮫喰われる前に刺したのだ――
- 88 冬眠のように静かにしてなさい――
- 89 冬だから売られたことに気付かない――
- 90 寒風が壁のどこかを抜けて来る――
- 91 冬めいて迷いだしたら壊すのだ――
- 92 その歌に鳥肌の立つ冬の朝――
- 93 隙間風頼まれもせず吹いている――
- 94 炬燵から出ていく理由などはない――
- 95 蒲団から出たくなるほど何もない――
- 96 ちゃんちゃんこ着て妖怪に成り下がる――
- 97 襦袢だけあれば満足そうである――
- 98 咳が出る今年も一人きりなんだ――
- 99 冬眠をするから声をかけないで――
- 100 今生は冬の水ほど澄んでない――